



ななつかの風～

畜産技術センターニュース

発行事務局
●広島県立総合技術研究所
畜産技術センター技術支援部
〒727-0023
庄原市七塚町584番地
TEL 0824-74-0331
FAX 0824-74-1586

● 平成25年度の畜技センター研究内容！

平成25年度の研究内容の一端を紹介します。

1 特殊LED照明開発プロジェクト(開発研究:平成25～27年度)

県の産業施策や企業等ニーズを踏まえ、戦略性を持って人材や資金を集中投資するプロジェクト型研究「戦略研究プロジェクト」に取り組んでいます。

今年度から、特定用途の多種多様なLEDの応用新製品の開発を企業と共同で取り組む「特殊LED照明開発プロジェクト」がスタートし、当センターも他の工業系および農業系技術センターとともに参画しています。

2 牛白血病防除技術の開発(開発研究:平成22～26年度)

乳用牛は牛白血病ウイルスの感染率が高く、特に母牛から子牛への感染率が高いことから受精卵移植を推進する上で和牛への感染拡大が懸念されています。そこで、乳用牛における牛白血病ウイルス清浄化対策として、「乳汁中の牛白血病ウイルスを不活化させる乳汁処理装置の開発」と「牛白血病感染牛から陰性後継メス牛を生産する技術の開発」に取り組んでいます。

3 広島牛の生産技術高度化に関する研究(事前研究:平成25年度)

広島県産和牛の収益向上のため、「生産技術改善による生産費低減」と「ブランド力強化による収益向上」に資する技術の開発を行います。

県立広島大学との共同研究(学際的・先端的研究枠)で県産和牛の差別化項目に関して調査を行い、本研究を戦略プロジェクト研究に発展させます。

4 ガラス化胚のダイレクト移植を可能とする器具の開発(事前研究:平成25年度)

受胎率の高いガラス化保存胚を、民間移植師が、畜産農家の庭先で移植できる簡便な方法および新たな移植器具の開発を行います。

本格的な研究への発展に向け、今年度は事前研究で取り組みます。

これらの詳しい内容は、当センターのホームページ(下記)に掲載していますのでご覧ください。

URL: <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/31/>

● 相次ぐ研修会の開催！

5～6月に、研修会が相次いで開催されました。

1) 咀嚼センサーデータ解析研修会（5/23）

牛の口の動きをモニタリングする咀嚼センサーで、放牧判断、分娩予兆の検知を行う実証試験を、東広島市の農家で家畜診療所と行っています。

咀嚼センサーのデータの活用実例や、行動をモニタリングする場合のポイントについて説明しました。

参加者は、20人で、口の動きで判断できることに興味深く研修を受講していました。



咀嚼センサーデータ解析
研修会の様子

2) 庄原実業高校調教研修会（6/7）

家畜の調教について、庄原実業高校の生徒と関係者の総勢27人で実技研修会が開催されました。

金ヶ江研究員、戸水研究員が講師となり、センターが保有する種雄牛を使い、歩行、停止、起立などの調教技術を目の前で披露しました。

皆さん、綱の使い方、声のかけ方について熱心に研修されていました。

長崎の全国和牛能力共進会で優等賞4席を獲得した「3柴沖茂」も登場し、貫禄の歩みでした。



調教の様子



3柴沖茂

3) 県立広島大学フィールド科学研修 （6/11、18）

県立広島大学フィールド科学研修が、総勢95人の学生の参加で2回にわたり開催されました。

種雄牛エリアでの精液採取作業と精子活力観察、乳牛エリアでのハイテク飼料給与とロボット搾乳について、研究員が説明しました。

後から提出されたレポートでは、初めてみた目の前での大きな家畜、畜産のにおい、想像もしていなかったハイテクな搾乳などに様々な意見が寄せられ、興味深い視察になったようです。

その他、君田和牛改良組合の視察もあり、広島県産和牛の精液利用に関心が高まっているようです。



搾乳ロボットの説明風景

編集後記：あまりに暑い日が続き「雨が降ればなあ」と思っていたら、雨の日が続き「そろそろ太陽が・・・」と、勝手な思いですね。「人間万事塞翁が馬」。目の前の事象に一喜一憂することなく、物事に対して、泰然自若とした気概が必要なようです。・・・SS